

道路事業

一般県道 佐野田沼インター線 【田沼インター工区】

(平成 22 年 4 月 17 日 完成)

1. 事業概要

一般県道佐野田沼インター線は、県道佐野田沼線から佐野田沼インターチェンジ（以下、佐野田沼 IC）を結び、北関東自動車道へのアクセス道路である。

本事業は、北関東自動車道の整備にあわせ、田沼インター工区として延長 430m の道路の新設を行うもので、平成 22 年 4 月 17 日に供用を開始した。

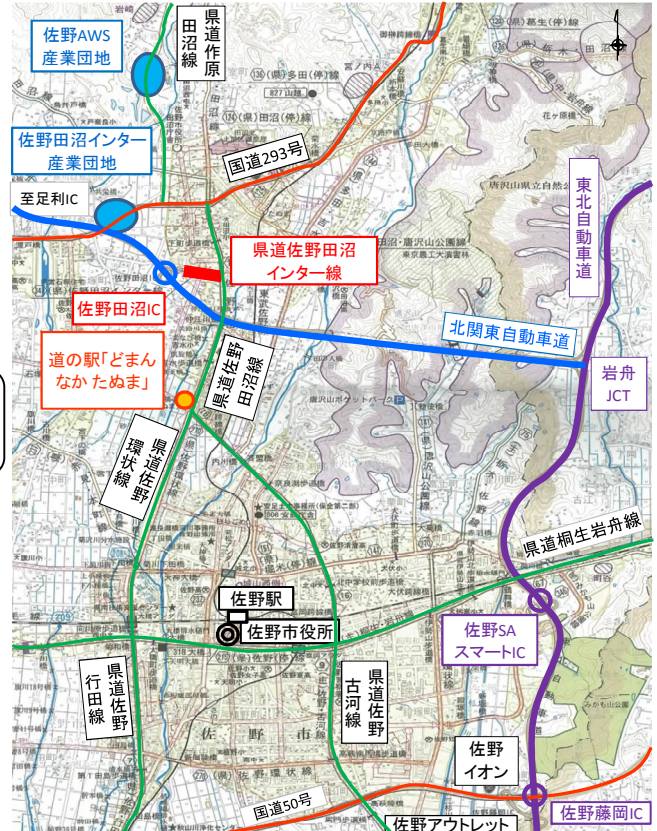
（北関東自動車道の供用開始日）

- ・H22.4.17：佐野田沼 IC～岩舟 JCT
- ・H23.3.19：太田桐生 IC～佐野田沼 IC(全線供用開始)

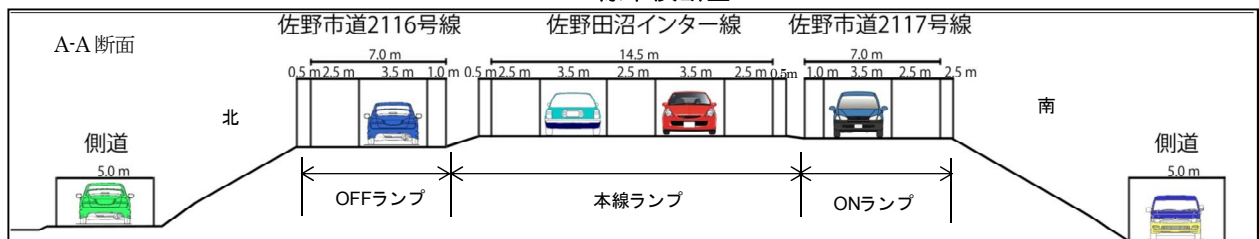
2. 事業目的

栃木県では、①佐野田沼 IC 周辺の地域開発の促進、②観光産業の活性化、③交通渋滞の緩和 という目的のため整備を行った。

- ▶ 事業名：緊急地方道路整備事業
- ▶ 事業主体：栃木県
- ▶ 事業箇所：一般県道 佐野田沼インター線【田沼インター工区】（佐野市吉水町～小見町）
- ▶ 全体延長：L = 430m
- ▶ 幅員：W=14.5m（車道 7.0m）
- ▶ 総事業費：約 18 億円（県施工分）
- ▶ 事業期間：平成 13 年度～平成 22 年度



標準横断面図



3. 事業の整備効果等

＜費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化＞


事業費 (着手時) 約 17 億円 → (完成時) 約 18 億円

事業期間 (着手時) 平成 13 年度～平成 23 年度 → (完成時) 平成 13 年度～平成 22 年度

<佐野田沼インター周辺の地域開発の促進>

佐野田沼インター線の整備により県内外及び佐野市内とのアクセスが強化されることから、用途地域が拡大され産業団地の整備が進むなど、佐野田沼インター周辺の地域開発の促進に大きく寄与している。

【佐野田沼インター産業団地】 佐野市
 造成時期 平成24年～平成26年
 造成面積 17.4 ha (11区画)
 H24.12 造成工事着手
 H25.7～ 第一期分譲 (5区画) 予約開始【全区画契約済】
 H26.7～ 第二期分譲 (6区画) 予約開始

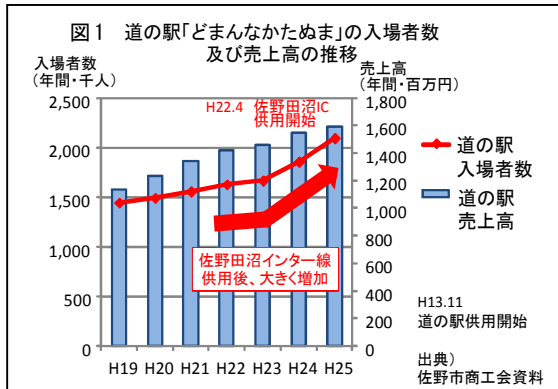


【佐野AWS産業団地】 民間
 造成時期 平成25年～平成26年(予定)
 造成面積 23.4 ha (6区画)
 H25.4～ 造成工事着手
 H25.4～ 分譲 (6区画) 予約開始



<観光産業の活性化>

佐野田沼インター線近傍の観光施設である「道の駅 どもんなかたぬま」の来客数及び売上高は、インター線供用を境に増加しており、観光産業の活性化に寄与している。(図1参照)



<交通渋滞の緩和>

北関東自動車道 佐野田沼ICのH25 入出庫利用台数は、H22 供用開始当初の約1.4倍に増加し、年間約228万台となっており、順調に増加している。

また、佐野市内の高速道路ICの利用割合において、佐野藤岡ICの利用者が減り、佐野田沼IC及び佐野SAスマートICの利用者が、その分増加している。(表1、図2参照)
 一方で、国道50号や293号の交通量は減少している。(表2参照)
 これらのことから、佐野市内の渋滞緩和に寄与していると言える。

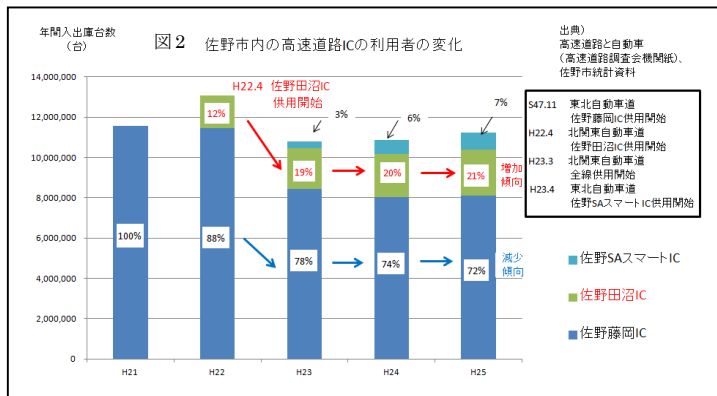


表1 佐野市内の高速道路ICの入出庫台数

	佐野藤岡IC 入出庫台数	佐野田沼IC 入出庫台数	佐野SAスマートIC 入出庫台数
H21	11,576,951	0	0
H22	11,455,500	1,632,874	0
H23	8,442,796	2,001,031	359,022
H24	8,049,038	2,125,923	702,837
H25	8,117,194	2,282,511	828,934

注: H22→H25(1.4倍に増加) 出典: 佐野市統計資料

表2 佐野市内の主要道路の交通量の推移

	国道50号 【佐野市高橋町】	国道293号 【佐野市出流原町】
H17	38,672	12,241
H22	34,313	13,114
H23	24,751	10,796

注: 単位: 台/12h 出典: H17.22道路交通センサ、H23北関東インパクト調査

<走行時間の短縮>

(1) 田沼庁舎 ⇄ 栃木 IC

佐野田沼 IC から、高速自動車道を利用した場合、国道 293 号線などの一般道を利用した走行時間よりも、約 10 分短縮が計られた。

(2) 田沼庁舎 ⇄ 佐野藤岡 IC

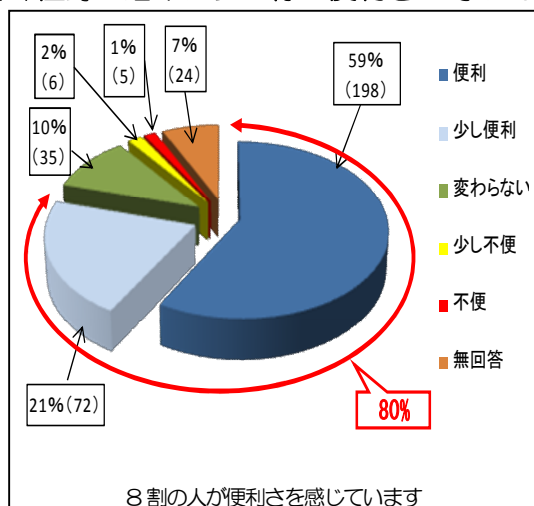
佐野田沼 IC から、高速自動車道を利用した場合、県道佐野田沼線などの一般道を利用した走行時間よりも、約 4 分短縮が計られた。

4. 地元の声 (アンケート結果)

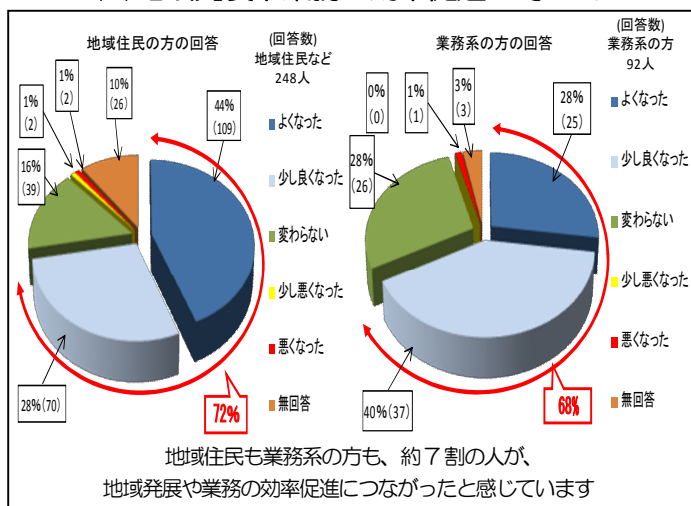
地元の声として、佐野田沼インター線の整備により、生活や環境などにどのような変化があったかを確認するため、地元住民や地元企業関係者など多くの方を対象に、アンケート調査を実施した。

(回答数/配布数：340/500件 回答率68% ※有効回答数は設問により異なります。)

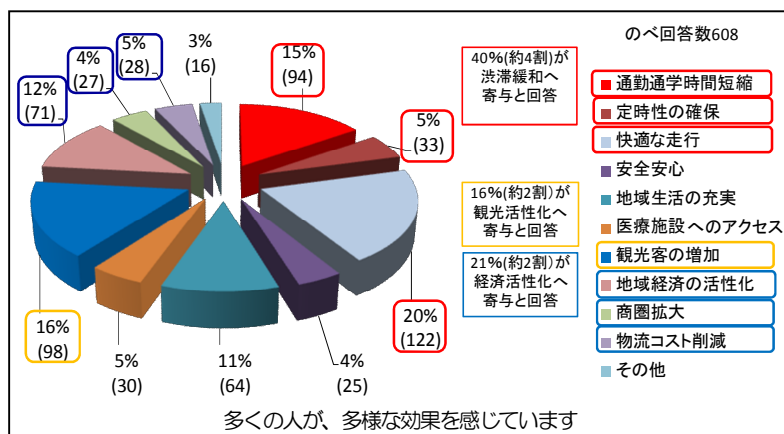
(1) 佐野田沼インター線の便利さに対して



(2) 地域発展や業務の効率促進に対して



(3) 佐野田沼インター線の整備効果について (複数回答)



(4) 自由意見

- ▶ 東北方面へのアクセスが容易になった。(60代 男性)
- ▶ 群馬県、茨城県に行くのに便利になった(70代 男性)
- ▶ 製品加工をお願いに行く時間が短縮できた。(60代 男性)
- ▶ 佐野田沼インター線の開通により、通勤通学、旅行、買い物、遠方へのアクセスに大変便利になった。(30代 女性)
- ▶ 佐野田沼インター線入口交差点の路面表示が不明確なため、側道の方へ誤って入ってしまう車両が多く、危険であるため、路面表示を明確にしてほしい。(70代 男性)

5. 事業実施による自然環境の変化

特になし

6. 事業を巡る社会経済情勢の変化

特になし

7. 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

佐野田沼インター線の整備は、周辺の開発状況、観光客に関する動向、及び交通量の推移に加え、アンケート結果により、本事業の目的である①佐野田沼インター周辺の地域開発の促進、②観光産業の活性化、③交通渋滞の緩和に加え、走行時間の短縮にも大きく寄与していることが確認されました。

このため、今後の事後評価の必要性はないと考えます。

また、アンケートの結果、「佐野田沼インター線入口交差点の路面表示が不明確であり、危険である」との意見がありました。これについては、交通管理者と協議のうえ、より安全な通行が確保できるよう対応して参ります。

8. 同種事業への反映

今後、同種事業の際には、適切な誘導など、より安全な通行が確保できるよう引き続き努めていきます。

栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2411 FAX : 028-623-2417
HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>
E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

